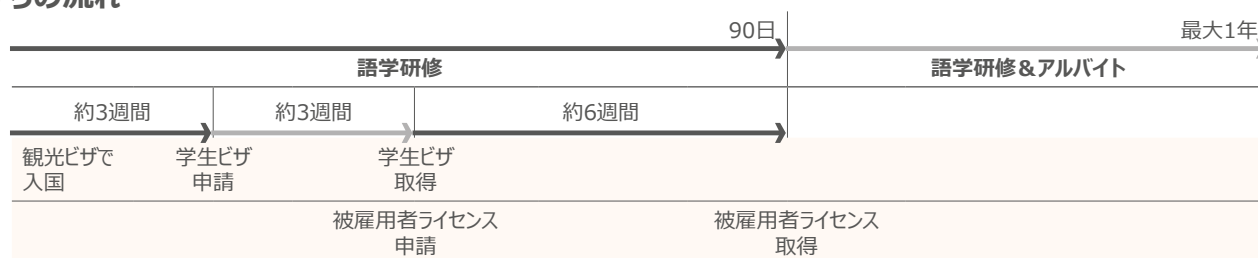




マルタ・スタディー & ワーク制度

マルタで90日以上留学することを前提に、学生ビザを取得した学生は、合わせて被雇用者ライセンス (Employee Licence) を取得することによって、週15時間以上の英語の授業を受けながら、週20時間までの就労(アルバイト)が認められます。元々EU国籍等の学生には、同圏内にあるマルタでの就労が認められています。その他の国籍の学生にも一定条件の下に就労が認められるようになったものです。

入国からの流れ



* 上記は最も順調にビザ及びライセンス取得が行われたケースを基にしたチャートです。書類の不備等の理由で時間がかかる場合もあります。

* 被雇用者ライセンスは、不適切な仕事での申請や、書類の不備等で取得が受けられない場合もあります。

ステップ1. 仕事を見つけよう

民間の求人サイトや、お店の前などに貼ってある求人広告等を利用するのが一般的です。また政府関連機関であり、被雇用者ライセンス取得の窓口ともなっているJobplusでも、求人サイトが運営されています。

<https://jobsplus.gov.mt/job-seekers-mt-MT-en-GB/vacancies>

ステップ2. 被雇用者ライセンスを取得しよう

被雇用者ライセンスは雇用主と一緒に、職種に応じた必要書類を揃えて、Jobplusを通じて申請します。申請から取得までは4~6週間ですが、書類に不備があったり不適切な職種で申請していたりすると、ライセンスが取得できない場合もあります。また申請時と受け取り時に合わせて230ユーロが必要です。

ステップ3. 勉強もアルバイトも頑張ろう

入国から90日以上が過ぎ、被雇用者ライセンスが取得できていれば、アルバイトを開始することが出来ます。必ず週15時間以上 (General English以上)の英語コースを受講し、アルバイトの時間は週20時間を上限とすることが条件となります。

よくある質問とその答え

Q: マルタで仕事は見つかりやすいですか？

A: 一般的に飲食関係の仕事は、人手不足のため比較的見つかりやすいと言えますが、英語力や接客の経験等にも左右されます。また日本関係の仕事は日本食レストラン、旅行会社、オンラインゲーム会社等があり得ますが、数は多くないでしょう。

Q: マルタの時給は普通いくら位ですか？

A: マルタの法定最低賃金は時給4.25ユーロ、通常カフェやレストランなどでは時給5.0ユーロ程度が目安です。

ECの強味

キャリアワークショップ

ECマルタ校ではほぼ毎日無料授業が行われており、その中にはキャリアワークショップも含まれています。英文履歴書の書き方、英語面接の受け方等の内容で、隔週で実施されています(休日等の関係で変更になる場合もあります)。

ビジネス英語入門 - English for Work

ECマルタ校では、初中級レベルから受講可能なビジネス英語入門が開講されています。週30レッスン受講の内の10レッスン分となりますが、仕事の場でよく必要になるボキャブラリーや英語表現、コミュニケーションスキルなどが学べます。

Q: 学生ビザを取得する前でも、職探しはできますか？

A: 仕事を探し始めるのはいつでも、日本にいる時からでも可能です。

Q: 学生ビザと被雇用者ライセンスは延長できますか？

A: 学生としての条件を満たし、また雇用主の同意があれば延長申請が可能ですが、必ず延長が認められるとは限りません。

Q: ライセンスが取り消されることはありますか？

A: あり得ます。該当制度に違反して働いたり、学校に登録していたりいた場合には取り消されます。また学校の授業は出席率が80%以下になると、ライセンス取り消しの要因となります。

ユニークな時間割

ECマルタ校の授業は、日替わりで午前と午後に授業が行われています。一部の職種ではこれがネックになることもあり得ますが、ホテルや飲食関係、ツアー会社等、シフト制での勤務が好まれる職場では、プラス要因にもなります。

理想的な立地条件

ECマルタ校は、3星ホテルから5つ星ホテル、カフェやレストランの集まるマルタツーリズムの中心地に位置しているため、学校の授業とアルバイトの両立に適した立地にあります。また学校提供の滞在先は、通常徒歩またはバスを利用して30分以内にあります。

注意点：この制度は2018年4月に施行されたものであるため、制度運用面において未だ不確かな部分があります。この制度を利用してライセンスを申請、マルタでアルバイトを希望する場合には、全ての情報が事前に確実に分かる前提ではなく、現地で随時確認をしながら、臨機応変に対応する前提で、計画を立てるようにしてください。